特定非営利活動法人草加市カヌー協会

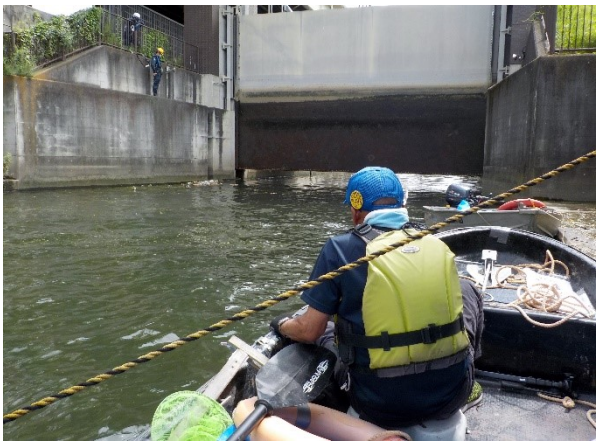
草加パドラーズ

[会報第 505 号] 令和 4 年 7 月 20 日発行

□草加パドラーズ事務局 住所 草加市松江 2-4-16 □電話 048-931-384

河川協力団体活動

綾瀬川放水路/9 名 23 袋回収

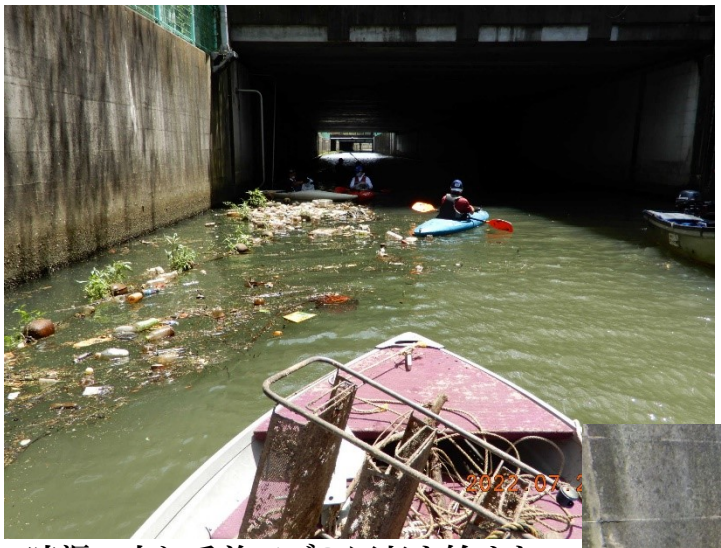


7 月 20 日(水)、令和 4 年度第 1 回「河川協力団体」綾瀬川放水路の浮遊ゴミ回収活動に、木村、松下、吉良、高橋、桜井、星野、小野寺、井坂、中島の **9 名が参加**し 45ℓビニール袋 **23 袋分と敷布団、掛け布団、アルミサッシ枠、キッチンワゴン、チャイルドシート各 1 の成果**でした。

救助艇 2 艇、カヌー5 艇が出動し、オイルフェンスで浮遊ゴミの拡散防止を図りながら活動しました。

9:00 水門到着、南水門出口へオイルフェンス設置
10:00 南水門開門
10:20 **ゴミ 1 袋分**回収
10:40 北水門開門
11:00 **ゴミ 22 袋分**回収
11:10 オイルフェンス撤収
12:00 回収ゴミの片付け
反省後に解散

河川協力団体活動の成果と課題！



《活動①》南水門での活動 10:00
・オイルフェンスを設置
・水位差 9cm。開門後、綾瀬川へ流下しオイルフェンスでブロックした浮遊ゴミを回収（約 1 袋分）。少なかった！
※13 日（水）、15 日（金）の 2 回、開門して大量の浮遊ゴミを中川へ放出。

《活動②》北水門での活動 10:40
・オイルフェンスを設置
・開門後、中川方面へ流下し始めた。

・暗渠の少し手前でゴミ回収を始めたが大量のゴミの為、簡単には終わらない。暗渠の中へ引き込まれるゴミを追いかけながら回収活動を継続した。オイルフェンスを張ったが無力であった。

《今回の課題》
・流下する方向が正確に予測できていなかった。
・暗渠の奥まで侵入しないという約束が守れなかった。
・水上活動と陸上活動をする人の意識の違いを感じた。

《今回の成果》
・悪臭を放つ浮遊ゴミを大量に回収できた。
・水流に抗するため最低速で移動できた。
・無事故で活動を終えることが出来た。

大変お疲れ様でした。